

360°ドライブレコーダー

ドラMARUKO

愛称：ドラマルコ

型番：L-360T

取扱説明書



お願い

映像を記録するために、microSD カード(最大 32GB Class10 推奨)が必要です。同梱品に含まれていませんので、あらかじめお客様でご用意ください。

目 次

1. はじめに	3
1-1. 安全上の注意	4
1-2. 同梱品の確認	7
1-3. 各部の名称	7
1-4. SDカードについて	8
2. 設置方法	9
2-1. ブラケットの取り付け方法	9
2-2. 取り付け位置について	9
2-3. 本製品の取り付け	10
2-4. 電源ケーブルの接続	10
3. 電源をオン/オフする	11
3-1. 電源をオンにする	11
3-2. 電源をオフにする	11
3-3. 画面を非表示にする	11
4. タッチパネルの操作	12
4-1. タッチパネルの表示内容	12
4-2. 録画中の表示	12
5. カメラ映像の表示モード	13
5-1. 映像の表示モード	13
5-2. 表示モードの切り替え	14
5-3. 表示画面の操作	14
6. 録画映像の保存	15
6-1. 撮影の開始・停止	15
6-2. 静止画の撮影	15
6-3. ファイルロックモード	16
6-4. 衝撃検知モード	16
6-5. 駐車監視モード	16
7. 録画ファイルの再生・削除	17
7-1. 映像の選択	17
7-2. 動画再生画面	17
7-3. 静止画再生画面	17
7-4. 動画・静止画の削除	17
8. パソコンで再生する	18
8-1. PCビューワのインストール	18
8-2. PCビューワの画面	18
9. 設定メニュー	19
10. トラブルシューティング	21
11. 仕様	22

1. はじめに

このたびは、「360° ドライブレコーダー ドラMARUKO」お買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書（以下、本書）は、「360° ドライブレコーダー ドラMARUKO」（以下、本製品）の設置方法および操作方法などを説明いたします。

■本製品の特長

- ・全方位カメラ搭載
360度カメラで車内・車外を録画！4種類のモニター表示で表示・録画が可能
- ・駐車監視モード
駐車監視モード中、エンジン停止時に車体に衝撃を検知すると録画を開始
- ・4.5インチのタッチパネルモニター
表示位置や映像の拡大が指先で行えます
- ・microSDカードに保存（最大32GB対応 Class10推奨）
- ・2Mの解像度で動画撮影が可能
- ・H.264録画圧縮形式
- ・1Lux夜間撮影が可能
- ・録音対応
- ・再生ソフトでPCから再生が可能

■表示図・画面について

本書の図や画面は、説明を目的とするため、実際の表示と多少異なる場合があります。ご了承ください。

■免責事項について

- ・本製品は、自動車の運転中に映像を録画し、事件や事故を調査するときの参考のためにのみ使用しますが、すべての出来事を録画することを保証するものではありません。万一被害など発生致しましても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・「取扱説明書」（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、一切責任を負いません。
- ・本書に記載されている付属品・ソフトウェア以外の機器の接続やソフトウェアの使用により、誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・事故や本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、本製品に登録された設定データなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

1-1. 安全上の注意

本製品を使用する前に、本書をよくお読みください。

以下の説明は、使用者の誤使用及び本来の目的以外の使い道に使う場合、製品安全上(感電、火災、爆発等)の被害程度(身体、財産上の損害)を使用者にお知らせし、危険を予防するための内容です。必ず、次の内容を熟知して正しく使ってください。

■表示の説明

誤った取り扱いをしたときに生じる危害、障害の程度を区分し説明します。

 警告	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「損傷を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できない、または、機能停止をまねく内容を示しています。

■図記号の説明

お守りいただく内容の種類を絵記号で区分し説明しています。

 ○記号は、してはいけないこと「禁止」を示します。
 ●記号は、しなければならないこと「指示」を示します。
 △記号は、注意を促す内容を示します

■設置場所について

 警告	
 ●	●運転手の視野を妨げない場所に設置すること 視野を妨げることは事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。
 ●	●フロントガラスに取り付けられる位置は、法律で規定されています 運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側に設置してください。 その際、ルームミラーと干渉しない位置に取り付けしてください。
 ○	●エアバックの近くに取り付け・配線しないこと エアバックの動作を妨げたり、エアバックの動作時に本製品が飛ばされ、ケガや事故の原因となります。
 ●	●車両側の供給電圧を確認すること 本製品の動作電圧は、DC12V/24Vの車種に対応しています。異なる電圧に接続すると、火災・感電・故障の原因となります。

■使用について

(1) 運転時の注意

 警告
 ●運転中に本製品を操作しない 運転中に本製品を操作すると、注意力が散漫になり、事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。

(2) こんなときは

 警告
 ●発煙への対処 万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本製品の電源をオフにし、電源ケーブルを抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
 ●水が本製品内に入った場合の対処 万一、内部に水が入った場合は、すぐに本製品の電源をオフにし、電源ケーブルを抜いて、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 ●電源ケーブルが傷んだ場合の対処 電源ケーブルが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電する恐れがあります。すぐに本製品の電源をオフにし、電源ケーブルを抜いて、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。

(3) 電源について

 警告
 ●付属の電源ケーブルを使用する 本製品に付属されている電源ケーブル以外は、絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
 ●ぬれた手での操作禁止 ぬれた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

(4) 禁止事項について

 警告
 ●改造の禁止 本製品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
 ●ぬらすことの禁止 本製品に水が入ったり、ぬれないようにしてください。火災・感電の原因となります。

(5) その他の注意

 注意
 ●本製品は、-20℃～65℃の温度環境内で使用すること 指定温度の範囲外で使用した場合、故障の原因となります。
 ●SD カードスロットや接続端子内に異物を入れない 故障の原因となります。
 ●ボタン及びタッチパネルに過度な力を入れない ボタン及びタッチパネルの損傷の原因となります。
 ●本製品に衝撃をあたえない 本製品を落としたり、衝撃を与えないでください。 破損や故障の原因になることがあります。
 ●本製品を破棄する場合、自治体の規則に従うこと カメラ内部にリチウム電池が内蔵されています。

■メンテナンス上の注意

お願い

- ・本製品を清掃する場合は、きれいな乾いた布を使用してください。
ケースに汚れがある場合は、中性洗剤を使用してください。
シンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性溶剤の使用は避けてください。
- ・レンズ面にほこりがある場合は、ブローワーを使用して、ほこりを取り除きます。

■著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作権者の権利が保護されています。このした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的のみで行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」、「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なお使用を心がけていただきますようお願いいたします。

■プライバシー・肖像権について

本製品の設置や利用につきましては、お客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

1-2. 同梱品の確認

次の物が入っているか確認してください。万一、欠品の場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または、弊社(裏表紙に記載)までご連絡ください。

お願い

映像を記録するために microSD カード(最大 32GB class10 推奨)が必要です。同梱品に含まれていませんので、あらかじめお客様でご用意ください。



1-3. 各部の名称



項目	説明
① タッチパネルスクリーン	カメラが映した映像と操作インターフェイスです。タッチパネルで操作できます。
② カメラ	動画、静止画を撮影します。
③ microSD カードスロット	動画、静止画を保存するための microSD カードを挿入します。
④ 映像入力端子	本製品では、使用しません。
⑤ 電源端子	電源ケーブルを接続します。
⑥ リセットボタン	本製品をリセットします。ピンなど先の細いもので押します。
⑦ 電源ボタン	電源のオン/オフや画面の表示/非表示を行います。

1-4. SDカードについて

次の手順で、本製品に microSD カードの取り外し／挿入を行ってください。

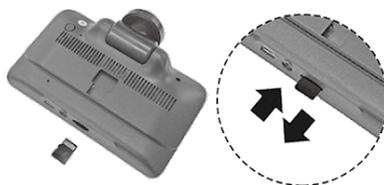
お願い

- ・記録されたファイルを消失しないように、定期的に別の記憶装置にバックアップすることをお勧めします。
- ・本製品とパソコンとを接続中に、パソコンから microSD カードに記録されているデータのファイル名およびディレクトリ名を変更しないでください。
本製品が microSD カードを認識できなくなり、正しく動作しない恐れがあります。
- ・microSD カードは、定期的にフォーマットをしてください。
1ヶ月に1～2回程度、フォーマットすることをお勧めします。
- ・microSD カードには、寿命があります。寿命になると正常に録画できなくなる恐れがありますので、定期的に新品への交換をお勧めします。

■microSD カードを挿入・取り出し

⚠ 注意

microSD カードを取り外す前に、必ず本製品の電源をオフにしてください。本製品の電源がオンになっているときに microSD カードを取り外した場合、記録された映像のファイルが破損または消失することがあります。



1. 本製品の電源がオフになっていることを確認します。
2. microSD カードのラベル面が本製品の画面の方向になるように、microSD カードを「カチ！！」と音がするまで、確実に挿入します。
3. microSD カードを取り出す場合は、microSD カードを押すと、microSD カードが飛び出します。その後取り出します。

■microSD カードをフォーマットする

microSD カードをフォーマットすることで、カード内のすべての記録を消去することができます。フォーマット方法については、「9. 設定メニュー」を参照してください。

2. 設置方法

次の手順で本製品を正しく設置してください。

設置を行う前に、自動車の説明書も併せて確認してください。

2-1. ブラケットの取り付け方法



1. 本製品背面の凹部とブラケットの凸部を合せます。

2. ブラケットを上方へスライドして、カメラ本体に固定します。

2-2. 取り付け位置について



運転手の視界を妨げず、自動車の前部がすべて映像として記録できる設置位置を選んでください。

ルームミラーの左右にずらして設置した場合も、映像は全方位で記録されるため、死角の少ない映像を撮影することができます。

⚠ 注意

・フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側に設置してください。その際、ミラーと干渉しない位置に取付けてください。

※道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条および別添37

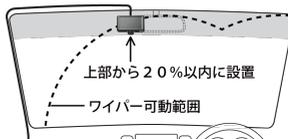
※コードクランプなどの貼り付けも、保安基準違反となるため、絶対に行わないでください。

・ダッシュボードに取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。

※道路運送車両の保安基準第21条（運転者席）、細目告示第27条および別添29

・地デジやETC等のアンテナの近くには設置しないでください。

・ワイパーの可動範囲に取り付けることをお勧めします。範囲外に取付けると、雨天時の水滴などにより映像が見づらくなる場合があります。



2-3. 本製品の取り付け

1. 設置する位置を決めたら、乾いた布で設置位置（フロントガラス）を拭きます。
2. ブラケットから保護フィルムをはがして、ブラケットを設置位置に押し付けます。
3. 画面の映像を確認しながら、本製品の角度を調整します。

注意

ブラケットにしっかりと固定されていない場合、本製品が運転中に落下し、損傷する可能性があります。

2-4. 電源ケーブルの接続



1. エンジンとアクセサリ電源がオフになっていることを確認します。
2. 電源ケーブルをアクセサリ（シガー）ソケットに接続します。
3. 電源ケーブルを本製品の電源端子に接続します。

注意

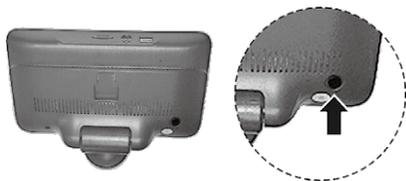
- ・電源ケーブルは同梱品を使用してください。同梱品以外の電源ケーブルを使用した場合、電圧が異なると本製品が損傷し、火災や感電の恐れがあります。
- ・お客様自身で電源ケーブルを切断したり改造したりしないでください。本製品や自動車を損傷する恐れがあります。
- ・安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害したりすることがないようにケーブルを配線してください。

3. 電源をオン／オフする

電源をオンにして、本製品の使用を開始します。

3-1. 電源をオンにする

■手動操作



電源ボタンを約3秒間押し放すと、電源がオンになります。

■車両との連動

電源ケーブルを本製品の電源端子および車両のシガーソケットに接続しているときは、エンジンを始動すると本製品の電源が自動的にオンになります。

メモ：電源をオンしてからシステムが起動するまで約25秒かかります。

運転を開始する際はご注意ください。

3-2. 電源をオフにする

■手動操作

電源ボタンを約1秒間押し放すと、電源がオフになります。

■車両との連動



1. 電源ケーブルを本製品の電源端子および車両のシガーソケットに接続しているときは、エンジンを停止すると、画面にメッセージが表示されます。
2. [電源オフ]をタッチすると、電源がオフになります。

メモ：約10秒間操作をしないと、赤色に表示されている操作が実行されます。

[取消し]をタッチすると、約1分後に同じメッセージが表示されます。

3-3. 画面を非表示にする

画面が表示されているときに電源ボタンを短く押しすると、画面が非表示になります。

再度、電源ボタンを押すかスクリーンをタッチすると、画面が表示されます。

メモ：録画中に画面を非表示にしたときも、録画は継続されます。

4. タッチパネルの操作

本製品は、画面にタッチして操作可能な、タッチパネルスクリーンを備えています。映像が表示されているときに画面にタッチすると、約 10 秒間メニューリストが表示されます。本製品の操作はメニューリストから行います。

4-1. タッチパネルの表示内容



① 動画の撮影を開始します。	⑤ 画面の表示モードメニューを開きます。
② 表示されている画面の静止画を撮影します。	⑥ 現在の時刻を表示します。
③ 記録ファイルの再生メニューを開きます。	⑦ バッテリー残量が表示されます。
④ 設定メニューを開きます。	

4-2. 録画中の表示



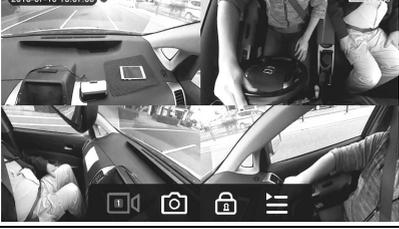
① アイコンが赤く点灯し、1 ファイルあたりの録画時間が数字で示されます。 録画中にタッチすると、録画が停止します。
② 表示されている画面の静止画を撮影します。
③ タッチすると赤く点灯し、録画中の映像が約 12 秒間のロックファイル（自動で上書きされないファイル）として保存されます。
④ 画面の表示モードメニューを開きます。
⑤ 録画中は赤い丸印が点滅します。

5. カメラ映像の表示モード

本製品は、垂直に 220° 水平に 360° の視野までの全方位撮影が可能です。
死角の少ない映像を撮影し、表示中の画面や記録したファイルを様々なアングルから確認することができます。

5-1. 映像の表示モード

撮影した動画／静止画ファイルや表示中の画面は、次の 4 種類の表示モードがあります。

	<p>ワイドアングルモード カメラを前方に向けて、前方のみを撮影します。</p>
	<p>球面モード カメラを下向きにして、全方位を円形に表示します。</p>
	<p>フロントバックモード 全方位を、前後に 2 分割して表示します。</p>
	<p>マルチウインドウモード 360 度全景映像を、前後左右に 4 分割して表示します。</p>

5-2. 表示モードの切り替え

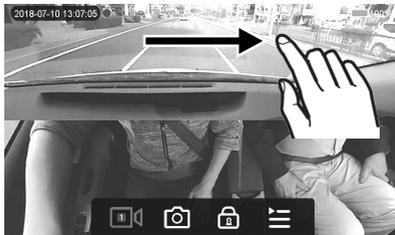
録画中や録画停止中、および再生中に、表示モードを切り替えることができます。

1. スクリーンをタッチし、メニューリストを表示し、 アイコンをタッチします。
2. 切り替える表示モードをタッチします。

5-3. 表示画面の操作

■画面の回転

ワイドアングルモード以外のモードでは、タッチパネルをスライドして、画面表示を回転させることができます。



■全画面表示

フロントバックモードおよびワイドアングルモードでは、対象の画面を素早く2回タッチすると、タッチした画面部が全画面で表示されます。

再度、素早く2回タッチすると、元の画面に戻ります。



6. 録画映像の保存

本製品で撮影された動画／静止画データは、microSD カードに保存されます。動画データは、設定した時間ごとに分割されたファイルとして保存され、microSD カードの容量がいっぱいになった場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。時間の設定については、「9. 設定メニュー」を参照してください。

注意

衝撃検知モードで撮影された映像やファイルロックモードで撮影し映像は、ロックファイルとして保存され、自動で上書きされません。そのため、ロックファイルが増えると、通常の録画で保存できるファイルの容量が減少します。

必要に応じてロックファイルを削除してください。ファイルの削除については、「7. 録画ファイルの再生」を参照してください。

6-1. 撮影の開始・停止

■自動撮影

自動録画モードがオンの場合、本製品の電源をオンにしてシステムが起動すると、自動的に録画を開始します。画面の左上に赤い丸印が点滅します。

自動録画モードのオン／オフについては、「9. 設定メニュー」を参照してください。

■手動撮影

スクリーンをタッチしてメニューリストを表示し、 アイコンをタッチして撮影を開始します。アイコンが赤い表示に切り替わり、画面の左上に赤い丸印が点滅します。

■撮影の停止

スクリーンをタッチしてメニューリストを表示し、 アイコンをタッチします。撮影が停止し、画面左上の赤い丸印が消えます。

メモ： アイコンに表示される数字は、保存される1ファイルあたりの記録時間です。記録時間の設定については、「9. 設定メニュー」を参照してください。

6-2. 静止画の撮影

スクリーンをタッチしてメニューリストを表示し、 アイコンをタッチします。表示中の映像が静止画で撮影されます。

録画中／録画停止中に関わらず撮影できます。

6-3. ファイルロックモード

撮影した動画ファイルにロックをかけて、自動で上書きされないロックファイルとして保存できます。ファイルロックモードは、約 12 秒後に通常の録画モードに戻ります。

■ファイルロックモードで撮影する

録画中にスクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、 アイコンをタッチします。アイコンが赤色の表示に切り替わり、ファイルロックモードになります。また、画面左上に[● SOS]が点滅します。

6-4. 衝撃検知モード

録画中、車両に衝撃を検知すると、衝撃検知モードが作動し、録画中のファイルとは別に、検知後の約 12 秒間の映像をロックファイルとして記録します。

衝撃検知モードは、約 12 秒後に終了し、通常の録画モードに戻ります。

6-5. 駐車監視モード

エンジンを停止して本製品の電源がオフになった後も衝撃を検知すると、検知後の映像を録画することができます。録画された映像は、ロックファイルで保存されます。

■駐車監視モードを作動させる



1. 本製品の電源がオンのとき、エンジンを停止すると、右図のメニューが表示されます。
2. [駐車監視]をタッチすると、画面の表示が消え、約 1 分後に駐車監視モードが作動します。
3. 駐車監視モード中に衝撃を検知すると、検知後の映像を約 12 秒間録画し、その後駐車監視モードに戻ります。

注意

エンジンを停止すると、本製品は内蔵バッテリーで駐車監視モードを作動させます。そのため、本製品のバッテリーが空になると作動できなくなります。

■駐車監視モードからの復帰

エンジンを始動すると、通常の録画モードに戻ります。

メモ：自動録画モードをオフにしているときも、駐車監視モードから復帰したときは、自動で録画が開始されます。

7. 録画ファイルの再生・削除

記録したファイルを画面上で確認できます。

7-1. 映像の選択

1. スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、 アイコンをタッチします。
ファイル管理メニューが表示されます。
2. ファイルを（動画：（フロント）、（リア:使用しません）、静止画：）を選択します。
3. 表示したファイルをタッチします。

7-2. 動画再生画面



- ① 次の動画を再生
- ② 再生の一時停止/ 再生
- ③ 前の動画を再生
- ④ 画面表示モードメニューの表示
- ⑤ 前の画面に戻る

7-3. 静止画再生画面



- ① 次の画像を表示
- ② 前の画像を表示
- ③ 画面表示モードメニューの表示
- ④ 前の画面に戻る

7-4. 動画・静止画の削除



ファイルメニューで削除するファイルを1秒間タッチすると、✓マークを表示され、[削除]をタッチします。

- ① すべてのファイルを選択
 - ② 選択しているファイル数
 - ③ 削除
 - ④ キャンセル
- （上下スライドで前後のファイルを表示）

8. パソコンで再生する

録画した映像を、PCビューワーを使用することで、様々なアングルで再生できます。
メモ：PCビューワーを実行するためのシステム要件は、以下の通りです。

下記のシステム要件に該当しない場合、PCビューワーが正しく機能しません。

CPU	Intel® Core™ i5 以上	RAMメモリ	4GB 以上
OS	Microsoft® Windows® 10 (64ビット推奨)		
その他	Microsoft® DirectX® 9.0以降、Microsoft® Internet Explorer®のバージョン8.0以降 グラフィックドライバ：OpenGL 2.0以降		

8-1. PCビューワーのインストール

PCビューワーのインストールファイル (VeSee_setup.exe) は、microSD カードのルートフォルダに自動で保存されます。

以下の手順に従って、PCビューワーをパソコンにインストールしてください。

1. PCにmicroSDカードを挿入します。(SDカードリーダー等で接続します。)
2. インストールファイル「VeSee_setup.exe」を起動し、インストールウィザードの手順に従って ([Next>]をクリック)、インストールを行います。
インストールが完了すると、PC内に「VeSee」フォルダが作成されます。
3. 「VeSee.exe」を開いて、PCビューワーを表示します。

8-2. PCビューワーの画面



① 再生リスト	⑦ ワイドアングルモード
② 再生リストを表示／非表示	⑧ 表示調整
③ 再生／停止	⑨ ボリューム調整
④ カメラの向きを変更	⑩ ファイルを選択する
⑤ フロントバックモード	⑪ 画質・アングルを変換して出力する
⑥ マルチアングルモード	⑫ 全画面表示

9. 設定メニュー

本製品の各種設定を行います。



注意

映像を正しく検証するために、事前に日付時刻、周波数の設定を行ってください。

■設定メニュー



1. スクリーンをタッチして、メニューリストを表示し、 アイコンをタッチします。
2. サブメニューの[記録]または[システム]をタッチして、設定したい項目を表示します。

■記録



画面をスライドさせると、
[スクリーンセイバー]が
表示されます

① 常時録画	通常の録画時に保存される1ファイルあたりの記録時間を、 [1分]、[2分]、[5分]から選択します。
② Gセンサー	衝撃検知モードが作動する感度を選択します。 ロー：低感度で検知します。(強い衝撃でないと検知しません) ミドル：通常の検知感度で作動します。 ハイ：高感度で検知します。(弱い衝撃で検知します)
③ 周波数	お住まいの地域の周波数、[50Hz]、[60Hz]を選択します。 正しく設定しないと、信号機が正しく撮影できない恐れがあります。
④ 自動録画モード	本製品の電源をオンにしたときに、自動で録画が開始されるモードのオン／オフを選択します。
⑤ 音声記録	録画中の音声記録のオン／オフを選択します。
⑥ バックカメラ鏡像	リアカメラの映像を画面に表示する設定のオン／オフを選択します。
⑦ スクリーンセイバー	操作をしない状態が続くと、液晶モニターを非表示にする設定をします。 [1分]、[2分]、[5分]、[オフ]から選択します。

■システム



① 言語設定	表示言語を、[日本語]、[簡体]、[繁體]、[English]から選択します。
② 明度設定	明度バーをスライドさせて、映像の明るさを設定します。  アイコンをタッチすると、自動で明るさを調整します。
③ 音声設定	音量バーをスライドさせて、録画時の音量および本製品の作動音を設定します。スピーカーアイコンをタッチすると、消音できます。
④ 時間設定	日付または時刻にタッチして、日付・時刻の設定を行います。
⑤ システム	[Format] : microSD カードに記録されているファイルを、ロックファイルを含む全てのファイルを削除します。 [リセット] : 本製品を工場出荷時の設定に戻します (初期化します)。
⑥ ファームウェア	ファームウェアのバージョンが表示されます。

10. トラブルシューティング

以下に、問題点が発生した場合の確認ポイントを記載します。

状態によっては、本製品の再起動などで改善する場合があります。

症状が改善されない場合や、下記以外のトラブルが発生した場合には、本書裏面のカスタマーサービスまでお問い合わせください。

問題	原因と対処方法
<ul style="list-style-type: none"> 電源が入らない 電源を入れてもすぐにオフになる 	<ul style="list-style-type: none"> シガープラグとケーブルの断線が無いかを確認してください。 本製品の電源端子が外れていないか接続を確認してください。 本製品の内蔵バッテリーの充電が不十分ですと、正常に起動できません。充電を行ってください。
駐車監視モード（エンジン停止時に衝撃検知で録画開始）で電源がすぐにオフになる	本製品の内蔵バッテリーの充電が不十分ですと、駐車監視モードが正常に起動できません。充電を行ってください。
録画された動画、静止画が表示されない、または壊れている	microSD カードが破損している可能性があります。新しいmicroSD カードに差し替えてください。 上書き回数が千回を超えると、記録できなくなる場合があります。
記録ができない	microSD カードが挿入されているか確認してください。
ファイルの読み込みが遅い	Class10 の microSD カードをご使用ください。
再生時、音が出ない	音声設定の音量が小さくなっていないか、または消音になっていないかを確認してください。
常時録画ができない	ロックされたファイルが多いため、常時録画を保存する容量が不足している可能性があります。 不必要なファイルを削除してください。
microSD カードの容量がすぐに一杯になってしまう	Gセンサーの感度が強すぎると、ちょっとした振動でファイルがロックされてしまう場合があります。すると、ロックされたファイルが増えてしまい、容量が足りなくなってしまう。 設定メニューから、Gセンサーの感度を調整してください。
画面が真っ暗になる	操作をしない状態が続くと、スクリーンセイバーが動くため、画面が消灯しています。（録画は継続されています。） 電源ボタンを押すと、画面が表示されます。 設定メニューから、スクリーンセイバーの時間を変更できます。
画面が暗すぎる	明るさの設定値が低すぎます。 設定メニューから、明るさを調整してください。
信号機の色が映らない	使用している地域の周波数 (50Hz/60Hz) が異なっています。 設定メニューから、お住まいの地域の周波数に変更してください。
液晶画面が表示しない	画面が非表示になっています。 画面をタッチするか、電源ボタンを短く押してください。
タッチパネルが操作できない	システムエラーの可能性があります。 電源ボタンを 10 秒間押しして本製品を再起動します。 または、リセットボタンを短く押しして、再起動してください。

11. 仕様

本書に記載されている仕様または機能は、技術改善などにより予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

項目	仕様	
製品名	360°ドライブレコーダー ドラMARUKO	
品番	L-360T	
記録媒体	microSD カード 最大 32GB まで対応 (Class10 を推奨)	
カメラ	撮像素子	1/3 インチ CMOS センサー
	視野角 (レンズ画角)	水平 360°/垂直 220° (カメラ下向きの場合)
解像度	動画	1440×1440 (約 200 万画素)
	静止画	約 300 万画素
	有効画素数	約 300 万画素
録画ファイル構成	1分/2分/5分単位で切り替え可能	
最低被写体照度	約 1ルクス	
画面サイズ	4.5 インチ液晶タッチパネル	
マイク	高感度マイク内蔵	
フレームレート	24fps	
スピーカー	1W/8Ω 1個内蔵	
音声設定	設定可能	
記録モード	常時録画	エンジン連動で自動的に記録を開始/終了 ON/OFF 選択可能
	G(加速度)センサー録画	衝撃感知センサー感度調整 ロー/ミドル/ハイの3段階選択可能
	ワンタッチ記録	静止画撮影
	駐車監視モード	Gセンサーによる連動録画
ファイル構成	動画: MP4 (圧縮形式: H.264)	
	静止画: JPEG	
再生方法	PC 再生専用ビューワーソフト (Windows7/8/10)	
再生画像分割表示	フロント1画面/前後2画面/前後左右4画面	
動作温度範囲	-20°C~65°C	
電源	電源ケーブル	約 3.5m
	対応車両電圧	DC12V/24V
寸法	129.5(W)×77(H)×18.5(D)mm (突起部を除く)	
重量	約 156g (カメラ本体のみ)	
録画時間/撮影枚数 (32GB 使用時)	動画: 約 5.8 時間 (Gセンサー:オン(ミドル)、音声録音:オン)	
	静止画: 27072 枚 (1枚=約 440KB、1440×1440)	

製品保証書

商品名	360°ドライブレコーダー	ドラMARUKO
型名	L-360T	シリアルNo.
お買い上げ日		日
保証期間	日	月
お客様	ご住所	ご氏名
連絡先	愛知県名古屋市中区丸の内2丁目20番地1 レッツ丸の内本社2号館ビル 株式会社レッツ・コーポレーション TEL 052-201-6230	

この製品は下記の通り保証いたします。

- この製品は、厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には、本体に印載された納品日から1年間無償で修理・交換いたします。ご購入日より1年以内は当社サービスに機器一式この保証書をご郵送の上、お申しつけください。無償修理期間中であっても、下記に記載する項目に該当する場合は無償修理となります。

この保証書は再発行いたしません。大切に保管ください。本書は、日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in JAPAN)

LETS

今、求められるニーズを

株式会社 **レッツ** コーポレーション



次の場合には有償修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
- (ロ) 受け取り後の搬送、移動、落下等による故障および損傷。
- (ハ) 火災、風水害、地震、雷その他の天災地変および異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
- (ニ) 特殊環境（たとえば極度の湿気、超電、ガス害、公害、塵埃、腐食など）による故障および損傷。
- (ホ) 保証書のご提示がない場合は所定事項の未記入または字句を改ざんされた場合。
- (ヘ) 保証書の紛失あるいは所定事項の未記入または字句を改ざんされた場合。

※ 仕様および外觀は、改良のため予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。

お問合せ先

本製品についてのお問い合わせは、販売店もしくは弊社までお願いいたします。

株式会社レッツ・コーポレーション カスタマーサービス

受付時間：9：30～18：00（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-209-7860 FAX：052-201-5050

URL：<http://www.lets-co.jp/lets/>

■本社

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目6-10 レッツ丸の内本社1号館ビル

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-201-6230 FAX：052-201-5050

■東京営業所

〒104-0061

東京都中央区銀座八丁目19-3 銀座竹葉亭ビル6F

TEL：03-3546-0889 FAX：03-3546-0941

■大阪営業所

〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9 新大阪ハイロードビル5F

TEL：06-6151-5749